

研究主題

**運動の楽しさや喜びを味わい、
主体的・協働的に取り組む西巣っ子の育成
～運動の特性を基にしたインクルーシブ型授業づくりを通して～
— 最終報告 —**

ご挨拶

主体的・協働的に取り組む西巣っ子・インクルーシブ型授業の創造

校長 野村 友彦

本校は、令和2・3年度の豊島区教育委員会研究開発指定校として、令和2年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の研究開発に取り組みました。令和3年度は、さらに一步進んで「主体的・協働的に取り組む西巣っ子の育成」をめざして「インクルーシブ型授業の開発」に研究の視点を移しました。本校には、特別支援学級「たけのこ」が併設されており、交流活動も盛んにおこなわれています。しかしながらコロナ禍の中では、これまでのような特別活動を主とした交流は厳しい状況となりました。そこで、令和2年度の実績を基に「誰とでもいっしょに」の考えを基に通常の学級の授業にたけのこ学級の児童が参加し、みんなが楽しめる授業づくりの実践を通して、豊島区に還元できる研究開発を行うことといたしました。あわせて、「SDGs 未来都市」の選定を受けた豊島区の取組を受けて、本校では「誰とでもいっしょに・インクルーシブプロジェクト」として、「SDGs にしすっ子ダンス」を開発しました。本校のオリジナル体操で、今ではダンスの曲が流れると児童が自然に体を動かし、口ずさみながら踊っています。豊島区の取組により本校の研究実践がより子供たちの成長を促すことになりましたことを心より感謝を申し上げる次第です。本校の研究を、各学校のインクルーシブ教育の実現にお役立ていただけたら幸いです。

最後に本校の研究を支え、ご指導をいただきました 東海大学体育学部体育学科教授 内田匡輔様、東京都教育庁指導部主任指導主事 美越英宣様をはじめ豊島区教育委員会の先生方に心より感謝を申し上げます。



令和4年6月3日(金)

豊島区立西巣鴨小学校